

狂言のま

人間国宝 山本東次郎の至芸

末 広 山本 泰太郎
山本 則孝

大鼓 柿原 孝則 太鼓 梶谷 英樹
小鼓 幸 正昭 笛 一噌 隆之

伊呂波 山本 則光
山本 則俊

御 田 山本 東次郎
寺本 雅一
山本 則秀
小川 一幸
山本 則重
山本 泰太郎

大鼓 柿原 孝則 太鼓 梶谷 英樹
小鼓 幸 正昭 笛 一噌 隆之

狂言のお話 山本 東次郎

(終了予定時刻 十七時頃)

※出演者 演目は都合により、変更になる場合があります。
予めご了承ください。

末広 すえひろがり

果報者が、祝宴の来客への進物用に末広を買い求めるため、太郎冠者を都へつかわす。末広が何であるかを知らない太郎冠者は、都のすっぱに言葉巧みに騙され、古傘を売りつけられる。得意顔で戻った太郎冠者は主人に厳しく叱責され追い出されるが、すっぱから教えられた囃子物を思い出し謡い舞うと、主人の機嫌もしだいに直り、主従仲よく謡って囃し回る。おおらかで祝言性に富んだ脇狂言の名曲。

「末広」とは閉じているときでも先の広がっている扇のことで、「中啓」とも言う。

伊呂波 いろは

親が子に「いろは四十八文字」を教えようと考え吟ずると、子は一字一字教えてくれと注文するが、筋違いな返答ばかり。そこで親は、自分の言う通り口真似をしろと命じるが、子は親が叱る言葉までそっくり言い返す。ついに親が怒って子を引き倒すと、子も同様に親を引き倒し、立ち去る。親は起き上がると怒って後を追う。小さな子どもがシテナので、初舞台の際に上演されることの多い曲。

御田 おんだ

賀茂明神の神主が五穀豊穡を祈るため、神の田の田植をはじめようと、氏子の早乙女たちを呼び出し田植を命じる。女たちは早苗を植えながら畦の神主と楽しげに話しかわしつつ一緒に舞いはじめ、数々の情緒豊かな田植えの歌舞が続いた後、めでたく謡い納める。

【出演】 山本東次郎 山本則俊 山本泰太郎 山本則孝 山本則重
山本則秀 山本凜太郎 山本則光 若松隆 寺本雅一 小川一幸
囃子方：一噌 隆之 幸 正昭 柿原 孝則 梶谷 英樹

令和5年6月24日(土) 14:00開演(13:30開場)

会場:入間市産業文化センター

入場料(全席指定・税込):前売 3,000円(当日 3,500円)

チケット販売:4月5日(水)

[チケット取扱い・お問い合わせ]

入間市文化創造アトリエ・アミーゴ

〒358-0053埼玉県入間市仏子766-1 TEL04-2931-3500

窓口・電話予約:9:00~20:00

※販売初日は9:00から窓口のみ。電話予約は、翌6日(木)からの取扱い

入間市産業文化センター

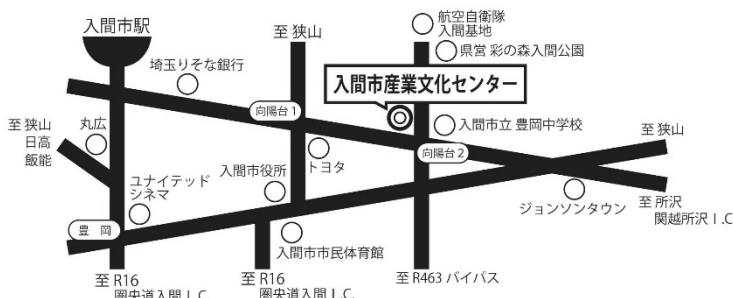
〒358-0001埼玉県入間市向陽台1-1-7 TEL04-2964-8377

窓口・電話予約:8:30~19:30(祝日を除く月曜日休館)

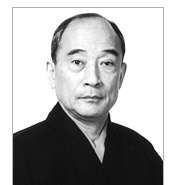
※販売初日は10:00から

■交通案内

【電車】西武池袋線・入間市駅(南口)下車 徒歩約12分



山本 東次郎 やまもと とうじろう
狂言方大蔵流・山本東次郎家四世山本会主宰
三世東次郎長男
平成10年 紫綬褒章受章
平成19年 日本芸術院賞受賞
令和4年 旭日中綬章受章
文化功労者顕彰
日本芸術院会員
重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)



山本 則俊 やまもと のりとし
狂言方大蔵流・三世東次郎三男
平成2年 芸術選奨新人賞受賞
平成19年 芸術祭優秀賞受賞
平成24年 旭日双光章受章
重要無形文化財総合指定



山本 泰太郎 やまもと やすたろう
山本則直長男
平成22年 芸術祭優秀賞受賞
平成23年 日本伝統文化振興財団賞受賞
重要無形文化財総合指定



山本 則孝 やまもと のりたか
山本則直次男
父および東次郎に師事
重要無形文化財総合指定